

## 第 1 回分科会での主なご意見への対応

ご意見（要旨）	対応	該当頁
<p>卒業後もフォローできる体制づくり、生きがいを持って地域活動を継続できるように、地域との連携を。</p> <p>卒業生の情報が自治体にわかるような方法をとってほしい。</p>	<p>市町村や関係団体との連携・協働、学生や卒業生の地域活動先についての情報発信や、生涯大学の学びの地域への還元について盛り込みました。</p>	<p>P. 23、24 P. 27</p>
<p>高齢者がスマホや ZOOM、LINE などを使えるようになれば、情報を取得したり発信したりができる。基礎科目に情報リテラシー的な内容を入れてはどうか。</p>	<p>高齢者が社会のデジタル化・ICT化に対応していけるよう、ICT利活用に係る知識の習得支援を基礎科目に盛り込むこととしました。</p>	<p>P. 12 P. 16</p>
<p>カリキュラムの中に広報活動が入れば、卒業生が自分たちで活動していくのではないかと思う。卒業生自らが地域に対して活動の周知を行い、皆で輪を広げていくと参加者（学生）も増えると思う。</p>	<p>学校説明会や体験授業を実施するとともに、学校の様子や卒業生の地域活動情報をホームページや SNS を活用して発信するなど、広報の充実に力を入れていくことを盛り込みました。</p> <p>今後、具体的な学習計画作成の際の参考にさせていただきます。</p>	<p>P. 28</p>
<p>学生には地域活動の仕方を学んでもらい、活動できる場の環境づくりは行政に頑張ってほしい。</p> <p>どのようにコーディネートしていくのか明確にしておいた方がいいのでは。</p>	<p>各コースの卒業後に期待される地域活動の例示を記載したほか、コーディネーター相互の連携強化、市町村や関係団体との連携・協働、学生実習先や卒業生の地域活動先の開拓等について盛り込みました。</p>	<p>P. 18 P. 24</p>
<p>マスタープランを県民に周知・広報することが一番大切。入学する前から、卒業後はどのような活動ができるようになるかということを周知した方がよい。</p>	<p>各コースの学習内容及び卒業後に期待される地域活動の例示を記載しました。</p> <p>学校説明会や体験授業を実施するとともに、学校の様子や卒業生の地域活動情報をホームページや SNS を活用して発信するなど、広報の充実に力を入れていきます。</p>	<p>P. 18 P. 28</p>
<p>地域にあった内容の講義を基礎科目の中に位置付けるとよい。</p>	<p>県内 5 地域で、それぞれの地域性や地域の状況を踏まえ、学習内容の充実を図ることとしました。</p> <p>基礎科目の具体的な学習内容は、各地域の関係者の意見も聞きながら検討していきます。</p>	<p>P. 11 P. 15</p>
<p>具体的な地域の活動を紹介するなど、学生の動機付けになるようなリアルな内容を組み入れてほしい。</p>	<p>地域活動を実際に体験することを学習内容に位置付け、実践的な学習を多く取り入れるなど、学生が身近に地域活動を経験できるように、学習内容の充実を図ることとしました。</p>	<p>P. 13</p>
<p>時代に即したカリキュラムとし、高齢者の知識・能力を使うような内容があった方がよい。</p>	<p>今後の生涯大学校は、その役割やカリキュラムを時代に即したものとするほか、高齢者の能力や経験を活力ある地域社会づくりに生かすための学びの場としていきたいと考えています。こうした観点を踏まえ、具体的な学習計画の作成に取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>